

発行日：2017/11/27

安全データシート

1. 製品名及び会社情報

製 品 名：パーフィクスレジンプレミックス用主剤
住 所：大阪府大阪市港区海岸通4-4-10
担 当 部 門：樹脂アンカー営業部
緊 急 連 絡 先：本社樹脂アンカー営業部
TEL/FAX：06-6576-5101/06-6576-5103
作 成：2004/05/14 改訂：2017/11/27

2. 危険物有害性の要約

分 類 の 名 称：分類基準に該当しない
危 険 性：引火性液体 区分外
有 害 性：皮膚腐食性／刺激性 区分3
環 境 影 響：知見なし
G H S ラベル要素：知見なし
注 意 喚 起：警告
危 険 有 害 性 情 報：軽度の皮膚刺激

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物
化 学 品：ビニルエステル樹脂とメタアクリルモノマーとの混合物

成 分 ビニルエステル樹脂 (メタ) アクリルモノマー

含 有 量	35～45%	55～65%
化学式又は構造式	非公開	非公開
C A S N o .	非公開	非公開
官報公示整理番号	化審法 非公開	非公開
	安衛法 非公開	非公開

4. 応急処置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動して、毛布等で保温して安静にさせ、状態が悪い時は、医師の診断を受ける。

眼に入った場合：流水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：付着部分をアルコールやアセトン等の溶剤を浸した布でよく拭き、その後石鹸で十分に洗う。

眼に入った場合：流水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：無理に吐かせないで、直ちに医師の手当てを受ける。

最も重要な兆候及び症状：眼・皮膚の発赤、めまい、頭痛、吐き気、脱力感、意識低下、喘息、肺水腫の症状を起こす。

応急処置をする者の保護：適切な保護具を着用する。

医師に対する特別な注意事項：医師の手当てを受ける時には、本SDSを提示する等、本製品に関する情報を医師に提供する。

5. 火災時の措置

消火器：粉末、泡（アルコフォーム）、噴霧水、炭酸ガス、乾燥砂
火災時の特有の危険有害性：燃焼又は高温下で、有害なガス（一酸化炭素）が発生する可能性がある。

特定の消火方法：初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を用いる。
大規模火災の際には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
周辺火災の場合、周囲の設備などに散水して冷却する。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、必ず保護眼鏡、有機ガス用防毒マスク、又は送気マスク等の保護具を着用し、消火活動は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：関係者以外の立入を禁止とし、風下の人を退避させる。
作業者は保護眼鏡、保護手袋、防毒マスク、防毒衣等の保護具を着用し、十分な換気を行う。

環境に対する注意事項：漏出した液が、環境中（下水、排水溝、地下）への流出を防止する。

万一公共用水域に流出した場合等、必要な時は関係行政機関に連絡する。

除去方法（封じ込め：少量の場合は、布や砂等で直ちに拭き取り、容器に収納す及び浄化の方法・機材）る。

大量の場合は、土砂等で堰を作って流出防止を図ると共に火源を断ち消火器を準備し、火災発生の防止に努める。保護具を着用し、漏出液を可能な限り容器に回収する。残った液は土砂、布等で拭き取り容器に回収する。河川下水、排水路等に流してはならない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い：保護具（保護眼鏡、保護手袋、保護マスク）を着用する。
熱、裸火、静電気、衝撃、火花等の着火源を生じないようにする。
通気性の良い場所又は局所排気、全体換気装置のついた所で作業する。
蒸気及び粉塵を発生させないようにする。
容器を転倒させる、落下させる、衝撃を加える等の乱暴な取り扱いをしない。
- 保 管：容器を密封して、冷暗所に保管する。
可燃物を近くに置かず、熱源から遠ざける。
酸化性物質、有機過酸化物と一緒に置かない。

8. 暴露防止及び保護措置

- 設 備 対 策：局所排気装置、防災シャワー、手洗い、洗顔設備の設置
管 理 濃 度：規定値なし
許 容 濃 度：規定値なし

保護具

- 吸 器 の 保 護 具：有機ガス用防毒マスク、送気マスク
手 の 保 護 具：保護手袋（有機溶剤不浸透型の静電気対策を施したものが好ましい）
眼 の 保 護 具：側板付き普通眼鏡型保護眼鏡、ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護：保護服、保護長靴、保護衣（有機溶剤不浸透型の静電気対策を施したものが好ましい）

9. 物理的及び化学的性質

- 外 観：琥珀色粘稠液体
臭 い：僅かなエステル臭
P H：データなし
融 点 / 凝 固 点：データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲：129°C/4 hPa（沸点、特殊メタクリレート）

引火点：145°C（特殊メタクリレート）

自然発火温度：データなし

燃焼又は爆発範囲：データなし

蒸気圧：データなし

蒸気密度：データなし

比重（密度）：データなし

溶解性：水に不溶、アセトン等の有機溶剤に可溶

1-オクタノール/水分配係数：データなし

10. 安定性及び反応性

安定性：冷暗所では安定である

危険有害反応可能性：光、加熱、過酸化物等により重合反応を起こし、発熱する

避けるべき条件：高温、直射日光

混触危険物質：強酸、強アルカリ、酸化剤等

危険有害な分解生成物：なし

11. 有害性情報

急性毒性

経口：データなし

経皮：データなし

吸入（蒸気）：データなし

吸入（粉塵）：データなし

皮膚腐食性／刺激性：軽度な皮膚刺激

眼に対する重篤な損傷／刺激性：データなし

呼吸器感作性：データなし

皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：類似の不飽和ポリエステルのAmes Testで陰性のデータ1）あるが、陽性データ2）も報告されており、評価はさだまっていなので区分できない。

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露）：データなし

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露）：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性（急性）：データなし

水生環境有害性（慢性）：データなし

1 3. 廃棄上の注意

適切な設備で焼却処分する。または、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託する。

容器を廃棄するときは、内容物を洗浄または焼却により完全に除去した後、処分する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

国 連 分 類：該当なし

国 連 番 号：該当なし

品名（国連輸送名）：該当なし

容 器 等 級：該当なし

国内規制

陸 上 規 制 情 報：消防法の規定に従う。

海 上 輸 送 規 制：船舶安全法の規定に従う。

航 空 輸 送 規 定：航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件：容器の転倒、落下、摩擦など、容器の損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。また、容器毎に漏れの有無、栓の閉まり具合を確認する。

消防法の危険物であるので、道路輸送車両法の規則に従う。他に船舶安全法、港則法その他関係法規を厳守する。船舶、又は飛行機による輸送に於いて「UN」マーク入りの容器を使用する。

応急処置指針番号：128

1 5. 適用法令

消 防 法：危険物 第4類 第3石油類 非水溶性液体

働 安 全 衛 生 法：該当しない

化 審 法：該当しない

化学物質排出把握管理促進法（PRTR）：該当しない

毒 劇 物 取 締 法：該当しない

船舶安全法：該当しない
航空法：該当しない
悪臭防止法：該当しない
大気汚染防止法：該当しない
作業環境測定法：該当しない
海洋汚染防止法：該当しない
じん肺法：該当しない
労働基準法：該当しない
その他：該当しない

16. その他（文献等）

- 1) (社)日本油料検定協会総合分析センター；変異原性試験報告書
試験番号4-16,4-17,4-22,4-25（1992）
- 2) J.Huff et al.；Environmental health perspectives,32, 247-270(1991)
- 3) 特殊メタクリレートのSDS
- 4) RTECS(Registry of Toxic Effects of Chemical Substances)
- 5) HSDB(2005年)（The Hazardous Substances Data Bank）

17. 記載内容の問い合わせ先

エヌパット株式会社 樹脂アンカー営業部
TEL/FAX：06-6576-5101/06-6576-5103

- * 記載内容は、現時点で入手できる情報等に基づいて作成しておりますが、新しい知見により改訂されることがあります。含有量、物理化学的性質は保証値ではありません。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施してください。